

令和元年度第1回認知症施策事業推進委員会での
認知症安心ガイドブックに係るご意見まとめ

【Aグループ】

No.	元ページ	内容	理由	Bグループとの相違	対応
1	1	見出しの「認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して」を「認知症になっても安心して暮らすために」に変更	「まちを目指して」は、市役所の目線であり、市民目線でないため		○
2	1	下段の「知っていますか？認知症と老化によるもの忘れの違い」を2ページ上段へ移動			○
3	1	最下段に「詳しくは地域包括支援センターへご相談を（○ページをご参照ください）」と追加	まずは包括へつなげたいため		○
4	2	上段の「あれ？これって認知症??」を1ページ下段へ移動	認知症の特徴をまず示すため		○
5	2	下段の「認知症は早期発見が大事！」中「治療すれば改善可能なものや～」を目立たせる。	市民に希望を持たせるため		○
6	2	下段の「認知症は早期発見が大事！」中「②病院でどんなことをするの？」は削除	不要な情報のため		○
7	4	「介護」、「家族支援」、「見守り支援」及び「生活支援」をまとめて「支援」とする。 「支援」の中に「安否確認・見守り」、「仕事・役割支援」、「継続相談支援」といった項目を設ける。			○
8	7	全体を4ページとし、4ページを5ページへ、5ページを6ページへ繰り下げる。	包括の案内を目立つようにするため	No.14と相違	×
9	7	上段の「最寄りの地域包括支援センターへご相談ください」の後に「次のようなサービスがあります」と追加	包括の案内を目立つようにしたことに伴い		

【Bグループ】

No.	元ページ	内容	理由	他案との相違	対応
10	1	見出しの「認知症安心ガイドブック」を「もの忘れ安心ガイドブック」又は「安心ガイドブック」に変更 →「認知症安心ガイドブック」のまま決定	委員会内で決定		
11	3	全体をもう少し小さくする。	「チェックリスト」と「日常よく見られる症状」の内容が一部重複しているため		×
12	4～6	上段に「日常よく見られる症状」を追加	包括では、「あなたの症状は今このぐらい」と伝えるため		○
13	4	例えば「ふれあい収集」を「ごみ収集のお手伝い」とするなど、名称を記載するのではなく、サービス内容を記載する。	市民にとって分かりやすくするため		○
14	7	全体を8ページとする。	包括へ向かって歩くとき見開きを開きながらだと大変なため	No.8と相違	○
15	7	地図をもう少し詳細に描く	簡略化されすぎているため		未
16	その他	地域包括支援センターに愛称を付ける。 →委員長名で運協宛てに文書を出す	市民は包括が何をやっているところか分からないため		未